

# 平成30年度 上田市立城下小学校 学校自己評価シート（年度末）

○ 評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）	総合評価	
まなび きたえ ともにのびる子	<ul style="list-style-type: none"> <li>友の話を聞き、自分の考えを伝え合い学びを深めようとする子</li> <li>心と体の健康を考え、進んできたえようとする子</li> <li>互いに支え合い、思いやりの心を育もうとする子</li> </ul> 今年度の重点目標 「指導の基盤になる集団の育成」	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや考えを伝える場面を多くし、それに対して問い返しをして話を深めていく時間を大切にしたい。自分の考えを堂々と話す力や、相手の話をしっかりと聞く力が伸びたように感じる。「聞く、話す、考える」ことは学びの基本なので、ひき続き取り組みたい。</li> <li>学級によって差が出ないように、認め合える、高め合える、自己表現ができる集団作りを様々な教育活動でめざしたい。特に、基盤となる学級経営で安心できる人間関係を作りたい。</li> <li>ルールが守れないことで、どんな結果になるのか子どもたちと一緒に考えた。ルールの定着はおおむねできた。落ち着いて学習する姿勢ができてきたので、これからも指導を続けたい。</li> <li>友だち同士で助け合ったり、困っている友だちに声をかけたり、思いやりのある姿がたくさん見られた。</li> <li>マラソンに力を入れて取り組んだ結果、10分間は休まずに走り続けることができるようになった。自分で目標を決め、やり遂げようと、体だけでなく心の成長も見られた。</li> </ul>	
1	授業のユニバーサルデザイン化による誰もが安心して学べる環境づくり		B
2	お互いが認め合い高め合える、人間関係を大事にした集団づくり		B
3	ルールとマナーが定着した安心して自己表現できる集団づくり		B

領域	対象	評価項目	評価の観点	A	B	C	D	成果と課題
学 教 育	教育課程・学指導	心の通じ合いを重視した指導の推進	協力して活動する場や互いの良さを認め合える場を設定しながら行事、学級経営、学習指導を進めることができたか。	13%	58%	29%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰りの会で友だちの頑張っているところや自分が嬉しかったことを発表する場を設け、日頃から他者の良さに気付けるようにした。</li> <li>学習発表会の練習をきっかけに、友だち同士で教え合い協力することで、より技術が高まると子どもがわかった。できる子と苦手な子が両者満足感を得ていた。</li> <li>誕生日会やお楽しみ会、学習発表会等、楽しみながら友だちと協力できる機会を設定している。会場準備や発表グループの練習場面で協力して進める姿が多く見られた。</li> <li>協力し、分担しながら学校行事を進めた。役割を得ることで積極的に取り組む姿が見られた。自治的な力がついてきたので、日々の活動につなげたい。</li> </ul>
		授業のユニバーサルデザイン化	どの子にもわかる・できる授業づくり、確かな学力が身につけていく授業づくりができたか。	0%	92%	8%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年で教材研究を行い、情報交換をし、学習で使用する提示物や教材・教具を共有して使えるようにしている。</li> <li>共有場面を大事にしてきた。それぞれの個の学びを振り返る姿が見られるようになってきた。</li> <li>板書や学習カードの工夫、発問の吟味について意識してやってきた。授業でこまる子どもが減った。</li> <li>特に「焦点化」に重点をおいて、毎回意識して授業を仕組んだ。</li> <li>個に応じた学習形態を心がけている。授業のテンポ、学習量、言葉かけをふり返り改善を図りたい。</li> <li>UD化についてはまだ発展途上なので、授業を通して考えたい。</li> </ul>
		学び合いを大事にし、考えを交流する場の設定	国語の読解力、算数の思考力の向上を目指し追究の場でお互いの考えを伝え合い、話し合う学習活動を設定しているか。	4%	63%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>追究の時間の後にお互いの考えを確かめ合う場面、教え合う場面を大切にしてきたが、相手の考えを聞いてさらに深く考え合うところまでは至っていない。</li> <li>急いで結論を出すのではなく、じっくりと考える時間を意識的にとるようにした。</li> <li>一部の子どもは意欲だけで授業が進まないように、指名をしたり発表する場を設けたりして表現力はついていくが、互いの考えの交流に発展させる工夫がさらに必要である。</li> <li>少人数で話し合う時間をとるようにしたり、「話し方」「聞き方」のモデルを全体に示したりして表現しやすいようにしている。</li> <li>算数では自分の考えを言語化することを大切に、より多くの児童が発言できるようにペアでの説明の時間を意識的に取り入れた。</li> </ul>
		家庭学習の充実	家庭学習の手引きを活用し、日頃の学習指導と連携させて家庭学習の習慣化がはかれたか。	13%	63%	24%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年末の学習のまとめとして、漢字や計算のドリルを利用して1年間の復習をし、基礎学力の定着を図っている。</li> <li>家庭学習は定着している。意欲的な取組については、課題が残っている。</li> <li>「納ぐ」の活用のために、家庭のチェックや連携を呼びかけたい。</li> <li>習慣化してきたが個々の差もある。取組について保護者へ様子を発信したい。</li> </ul>

生徒指導	明るい挨拶や返事の励行	進んで行く挨拶や気持ちよい返事を繰り返し指導し、教師が実践することで、子ども達に広がっていったか。	8 %	75 %	17 %	0 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会で、日直が、気持ちの良い挨拶をしていた友だちを紹介して、挨拶の輪を広げている。</li> <li>担任の評価を伝え続けて、子どもたちも努力している。評価がなくてもできるように、気持ちを育てたい。</li> <li>校長講話や職員の働きかけで、以前よりも挨拶ができるようになってきた。気持ちの良い挨拶を、自ら進んでできる子どもが増えた。明るい挨拶、自発的な挨拶は定着に時間がかかるので、継続した取り組みにした。</li> <li>地域の見守りの方々へも率先して大きな声で挨拶をする子どもが増えた。</li> <li>挨拶を返したり自分から挨拶したりできる子どもが、どの学年も増えてきた。</li> <li>シャイな子が多く、学級では少しずつ無理をせず意識を高めている。学校全体では取組を通して、挨拶を返す子どもが多くなった。</li> <li>職員の意識統一により、全校の挨拶が向上した。</li> <li>朝の会で、日直が、気持ちの良い挨拶をしていた友だちを紹介して、挨拶の輪を広げている。</li> <li>担任の評価を伝え続けて、子どもたちも努力している。評価がなくてもできるように、気持ちを育てたい。</li> </ul>
	生活規範意識の育成(基本的な生活のルールの確立)	集団生活のきまりや約束に関する日常的な指導を進めたか。(遊びの約束の徹底、安全な廊下歩行の指導、授業を受けるルールの指導、無言清掃の取り組みに向けた指導等)規則正しい生活習慣が身についてきたか。	0 %	75 %	25 %	0 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団生活の約束を子どもたちと確認することで、子ども同士で声をかけ合い、きまりを守ろうとする姿が見られた。</li> <li>集団のきまりや友だちとの関わり方等、道徳を中心に心の学習を進め、トラブルが減少した。</li> <li>遊びのルールは学級全体で何度も確認をして、定着しつつあるが、誰かが破ってしまうとつられてしまう子どももいるので、指導を継続したい。</li> <li>職員のアンテナが高くなり、子どもの実態に合わせて必要な指導をタイムリーに示すことができた。事故の未然防止につながっている。</li> <li>「無言清掃」の取組は意識が高まった。それ以外のところに課題がまだ残っている現状である。</li> <li>重点的に取り組んできた「無言清掃」「廊下歩行」は、子ども同士で気遣ったり工夫したりして、みんな達成しようという態度が身についてきた。</li> <li>子どもに意識が定着するように、振り返りを大切にしたい。子ども自身が納得することが大事である。</li> </ul>
	いじめ・不登校を未然に防ぐ取り組み(温かな人間関係)	自他の良さを認める場の設定や日常的な人権同和教育、自己有能感を高める教育活動を行うことができたか。 子ども達の様子に目を配り、友達関係や実態をつかみきめ細やかな保護者との連絡を心がけることができたか。	12 %	71 %	17 %	0 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの良さを認め合う場面を設定したり、何かトラブルが起きた時、みんなで話し合う場面を設定したりした。自分の良さを認識したり、友だちの良さを認識したりしながら良好な友だち関係を築くことができた。</li> <li>先生方の連携で子どもの情報が共有でき、相談場所や落ち着いて学習に取り組める環境が提供されている。学級で不安を抱えていた子が、安心して学校生活が送ることができている。</li> <li>言葉遣いの乱れや心ない行動が見られたときは、すぐにその場で指導をするように心がけている。早急な対応によって、相手の立場に立って自分を振り返ることができた。振り返ることが困難な時も、周囲が影響されないように配慮している。</li> <li>子ども同士の人間関係を築くことが困難な子どもに対して、適切な居場所を作りたい。</li> </ul>
学校運営	地域と連携	地域で活躍している方々と連携して、地域のものや人と関わる活動や交流ができたか。	21 %	54 %	25 %	0 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体だけではなく、学年の学習への支援も多々講師として来ていただき、学ぶことができた。外部講師に指導をしていただくと、学習への意欲や取組が変わる。</li> <li>継続して支援を受けている学習があるので、従来を継承している。子ども達は意欲的に活動できた。</li> </ul>
	保護者との連携	参観、行事、懇談、環境整備等、保護者の方々の理解や協力を得ながら教育活動を展開しているか。	13 %	83 %	4 %	0 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会での保護者のお話を大事にしている。相談については真摯に受け止め、子どもたちのために一緒に考えたい。</li> <li>「紡ぐ」を介して家庭との連携が進んだ。</li> <li>心配なことや頑張っていることを「紡ぐ」に短くコメントして、家庭との連携に努めている。</li> <li>必要に応じて個々に連絡を取り、学校の誠意が伝わるように丁寧な対応に努めている。</li> </ul>
	学校からの情報発信	学校、学年、学級だより、学校ホームページを通して情報をタイムリーに発信できたか。	12 %	71 %	17 %	0 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週、お便りを発行することができた。</li> <li>定期的な発行はもちろん、臨時として発行するものも含め、滞りなく発信できた。</li> </ul>
研修	授業づくり研修	国語・算数・道徳等の授業研究会や一人一公開授業を通して、自らの課題に向けて授業改善を進められたか。	25 %	67 %	8 %	0 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修を通して学んだことを、学級の実態に合わせて実践できた。</li> <li>多くの先生方の授業を参観して得るものが多かった。自分の授業作りにもとても役立った。</li> <li>研究で学び、UD化した教材を用いて授業を実践した。日々、どの教科でも意識して行えるようにしたい。</li> <li>指導いただいたことが身に染みだ。公開授業は自分のためになる。</li> </ul>